

第2回

御影公民館及び清水消防署御影分遣所
建設基本構想策定

検討委員会資料

2026年7月28日

検討委員会のスケジュール

- 「御影公民館及び清水消防署御影分遣所建設町民検討委員会」では、下表のスケジュールで検討を進めることを想定しています。

	開催時期	協議事項（案）
第1回	6月29日	御影地区・現況施設の概要
第2回	7月28日	御影地区の今後のまちづくりの方向性と施設のあり方
第3回	8月	施設の導入機能①（基本方針と配置場所）
第4回	9月	施設の導入機能②
住民説明会	10月上旬	基本構想の骨子
第5回	10月	基本構想案について
第6回	11月	基本計画① 施設の規模、配置計画など
住民説明会	12月	基本計画に向けて
第7回	12月	基本計画②

事業スケジュール

- 複合化施設の事業スケジュールは以下を想定しながら進めます。

令和8年度

10月頃を目処

基本構想

10月頃から
スタート

基本計画

令和9年度

基本設計

令和10年度

実施設計

令和11年度

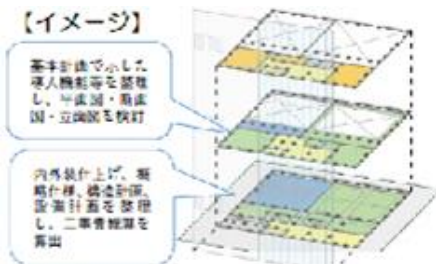
工事着工

基本構想

- 施設整備のコンセプト、概ねの導入機能、規模、候補地、配置イメージなどの基本的な考え方を整理します。

基本設計

- 基本計画を踏まえ、意匠を決定し、建築、構造、電気設備、機械設備等の基本設計を実施します



実施設計

- 施工を考えてデザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を行うとともに工事費の具体的な積算を行います

1. 第1回検討委員会（6月29日）での意見のポイント

- 既存施設の老朽化を踏まえつつ、御影地区全体の公共施設のあり方を考える必要性が共有された。
- 新施設には、地域行事や集会に対応する公民館機能、消防分遣所、防災拠点としての機能が求められる
- 一方、人口減少や高齢化を踏まえ、過大な施設とならないよう規模や機能を慎重に検討すべきとの意見が出されました。
- 若い世代や子育て世代を呼び込むため、屋内遊び場、親子の居場所、カフェやイベントスペースなどへの期待も示されました。
- フットサルなど地域資源との連携、地域経済やにぎわいづくり、町全体での公共施設の役割分担、防災拠点としての機能など、多面的な視点から検討を進める必要があることが確認されました。

2. 現在の施設の利用状況

(1) 公民館

- 公民館では**大集会室の利用が中心**であり、地域行事、選挙、文化活動等に対応する大きな集会空間として一定の役割を果たしている。
- 一方で、**講義室、2階和室、調理室などは年間を通じて稼働が低く**、現在の部屋構成が地域ニーズと必ずしも一致していない状況が見られる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大集会室	午前	31.0%	33.3%	44.8%	73.3%	30.0%	58.6%	63.3%	37.9%	40.7%	40.7%	74.1%	40.0%
大集会室	午後	0.0%	13.3%	13.8%	63.3%	6.7%	34.5%	30.0%	17.2%	18.5%	25.9%	74.1%	6.7%
大集会室	夜間	13.8%	13.3%	20.7%	73.3%	13.3%	41.4%	50.0%	24.1%	18.5%	29.6%	55.6%	13.3%
1F和室	午前	6.9%	0.0%	6.9%	6.7%	0.0%	10.3%	10.0%	10.3%	0.0%	11.1%	7.4%	10.0%
1F和室	午後	20.7%	20.0%	34.5%	30.0%	26.7%	31.0%	23.3%	34.5%	29.6%	25.9%	25.9%	30.0%
1F和室	夜間	10.3%	13.3%	10.3%	13.3%	13.3%	17.2%	10.0%	10.3%	7.4%	11.1%	11.1%	10.0%
講義室	午前	3.4%	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%	13.8%	16.7%	20.7%	3.7%	3.7%	11.1%	0.0%
講義室	午後	3.4%	3.3%	6.9%	6.7%	0.0%	6.9%	3.3%	6.9%	7.4%	0.0%	11.1%	0.0%
講義室	夜間	10.3%	6.7%	3.4%	10.0%	6.7%	6.9%	10.0%	6.9%	7.4%	7.4%	14.8%	6.7%
2F和室	午前	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%
2F和室	午後	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%
2F和室	夜間	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
調理室	午前	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	0.0%	3.4%	6.7%	0.0%	3.7%	0.0%	3.7%	3.3%
調理室	午後	0.0%	0.0%	10.3%	3.3%	0.0%	3.4%	3.3%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
調理室	夜間	0.0%	0.0%	3.4%	3.3%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 改善センター

- 改善センターは、多目的ホールの利用が比較的高く、午後・夜間を中心に地域活動、軽運動、個人利用等の受け皿となっている。
- また、年間を通じた個人利用も多く、御影地区における日常的な健康づくりや居場所としての役割を担っている。
- 一方で、2階研修室や会議室などは利用に余裕があり、公民館の会議・研修機能と合わせて再編を検討する必要がある。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多目的	午前	17.2%	13.3%	10.3%	26.7%	36.7%	17.2%	26.7%	24.1%	29.6%	37.0%	29.6%	23.3%
ホール	午後	37.9%	56.7%	58.6%	40.0%	30.0%	69.0%	70.0%	65.5%	48.1%	63.0%	74.1%	53.3%
	夜間	13.8%	26.7%	37.9%	33.3%	20.0%	37.9%	30.0%	48.3%	51.9%	74.1%	77.8%	83.3%
個人	無料	264	232	121	150	137	95	77	183	133	208	162	177
個人	有料	105	66	66	50	59	55	37	96	76	66	69	89
1F和室	午前	20.7%	23.3%	24.1%	26.7%	10.0%	24.1%	20.0%	27.6%	25.9%	44.4%	22.2%	26.7%
	午後	24.1%	23.3%	24.1%	30.0%	16.7%	24.1%	33.3%	34.5%	37.0%	22.2%	37.0%	40.0%
	夜間	41.4%	26.7%	27.6%	30.0%	30.0%	13.8%	20.0%	13.8%	25.9%	14.8%	18.5%	33.3%
2F研修室	午前	10.3%	6.7%	10.3%	6.7%	6.7%	10.3%	20.0%	13.8%	11.1%	11.1%	7.4%	6.7%
	午後	17.2%	16.7%	10.3%	3.3%	13.3%	20.7%	26.7%	17.2%	14.8%	14.8%	14.8%	20.0%
	夜間	10.3%	16.7%	17.2%	13.3%	13.3%	6.9%	13.3%	3.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
2F会議室	午前	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%
	午後	27.6%	23.3%	34.5%	23.3%	20.0%	27.6%	26.7%	31.0%	25.9%	22.2%	25.9%	26.7%
	夜間	13.8%	23.3%	31.0%	16.7%	6.7%	24.1%	23.3%	17.2%	14.8%	18.5%	22.2%	20.0%

(3) 世代間交流センター

- ・ 世代間交流センターは、軽スポーツ場を中心に、スポーツ少年団、福祉関係団体、ゲートボール、老人クラブ等の利用が多く、子ども・高齢者・福祉・健康づくりの活動拠点として一定の役割を果たしていると推察される。
- ・ しかし、令和7年度の利用は240件、2,786人であり、前年度の292件、4,007人と比較すると、**件数・人数ともに減少**している。
- ・ 利用内容を見ると、**スポーツ少年団が973人と最も多く**、軽スポーツ場を活用した子ども・青少年の活動が施設利用の大きな柱となっている。
- ・ また、福祉関係団体、老人クラブ、ゲートボール等の利用も多く、高齢者や福祉・健康づくりの拠点としての役割も大きい。
- ・ 一方で、利用は一部の団体・活動に集中している。
- ・ 親子が日常的に利用できる屋内遊び場や、子育て世代の交流・相談の場としての機能は、現在の利用実績からはわからない。

世代間交流センター利用状況

年度／ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
前年度利用人数	317	294	286	349	289	309	1,844	448	364	313	334	267	437	4,007
(累計)	317	611	897	1,246	1,535	1,844		2,292	2,656	2,969	3,303	3,570	4,007	
本年度利用人数	333	216	184	253	131	215	1,332	214	247	269	334	204	186	2,786
(累計)	333	549	733	986	1,117	1,332		1,546	1,793	2,062	2,396	2,600	2,786	
前年度対比	105.0%	73.5%	64.3%	72.5%	45.3%	69.6%	72.2%	47.8%	67.9%	85.9%	100.0%	76.4%	42.6%	69.5%
備 考														

(4) 3施設からの考察

- 御影地区の既存施設を見ると、御影公民館は築50年以上、世代間交流センターは築35年、改善センターは築41年が経過しており、いずれも老朽化や今後の維持管理が課題となっている。
- 一方で、利用状況を見ると、公民館の大集会室、改善センターの多目的ホール、世代間交流センターの軽スポーツ場など、大人数の集会、地域行事、軽スポーツ、健康づくりに対応する空間は現在も一定の利用があり、御影地区の地域活動を支える重要な機能となっている。
- 公民館の2階和室、調理室、講義室、改善センターの一部研修室・会議室などは利用に余裕があることから、新たな複合施設では、その機能を見直すことが必要と考えられる。

3. 検討すべき機能

(1) 検討すべき視点

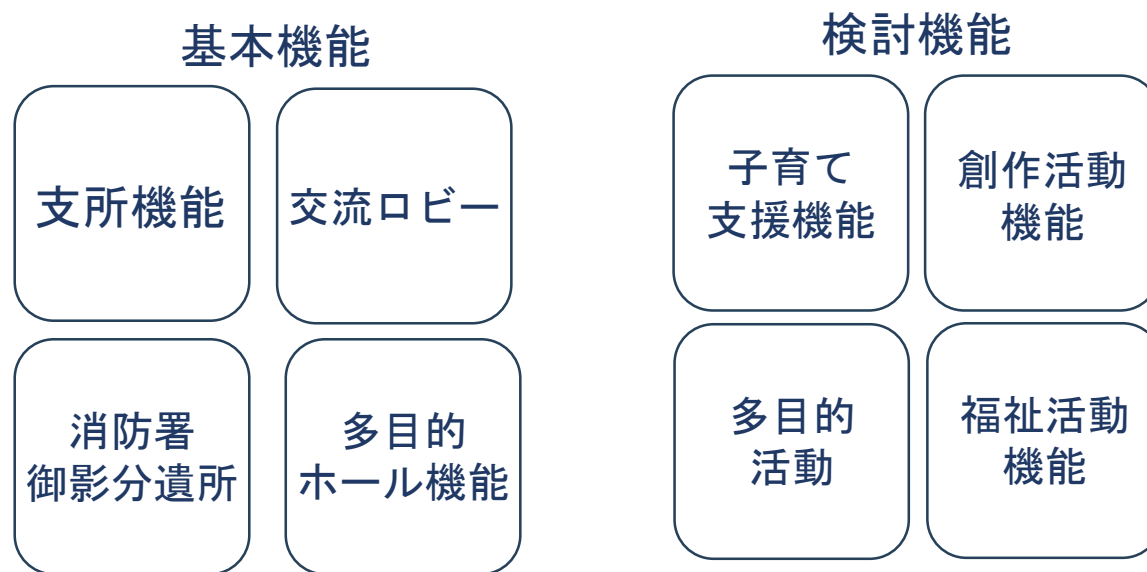
- 第1回の検討会、利用状況などから、複合施設を検討にあたり検討すべき内容としては、以下の通りです。
- 子どもから高齢者までが日常的に利用し、世代を超えて交流できる機能
- 公民館の廃止を前提とし**支所機能**
- 現在の利用実態などを考慮し、地域行事や軽スポーツ、健康づくり、災害時利用に対応できる**多目的ホール機能**
- 親子が日常的に過ごせる**子育て支援機能**
- 高齢者の健康づくりや**福祉活動を支える機能**
- 町内会・サークル活動等に対応する**多目的活動室を一体的に整備**することも考慮する。
- 従来の貸館型施設にとどまらず、予約がなくても立ち寄れる**交流ロビー**
- 子どもや高齢者が安心して過ごせる**居場所、食育や会食、災害時の炊き出し**にも対応できる交流キッチン、陶芸や工作等に対応する**創作活動スペース**など
- 意見として出されていた子ども遊戯施設は新たな機能となることから、今回の複合施設では考慮しません。

検討すべき視点

検討すべき視点	内容
既存機能	支所、消防、地域行事、軽スポーツ、福祉活動など、現在も必要性の高い機能は継承する
防災拠点	消防機能、避難、備蓄、情報発信、行政サービスを組み合わせ、災害時にも機能する拠点とする
機能再編	和室、調理室、研修室、会議室などは専用室として残すのではなく、多目的化・共有化する
日常利用	行事のときだけ使う施設ではなく、親子、高齢者、小中高生、地域住民が日常的に立ち寄れる施設にする
多世代交流	子ども、高齢者、子育て世代、地域団体が同じ施設を使うことで、自然な交流が生まれる施設にする
子育て支援機能	子どもの遊び場など子どもと子育て世代の利用により、多世代が利用する施設にする

(2) 御影地区で検討すべき機能

- 第1回での意見、現状の利用状況などを考慮すると、複合施設の検討にあたり、検討すべき機能は、下図が想定されます。
- 支所機能、消防機能、多目的ホール、交流ロビーなどの基本機能を確保することが必要と考えます。
- そのほか子育て支援、創作活動、福祉活動、そのほか多目的活動などの機能を組み合わせて検討します。



参考資料：子供向け施設

（１）周辺地域における子ども向けの施設

施設名	場所	主な施設内容
音更町（計画） 屋内遊戯施設整備	音更町 十勝が丘公園 多目的広場	「十勝川温泉地域の活性化」と「子育てしやすい・住みやすいまちづくり」を目的に計画されている コンセプトは「訪れる人に選ばれ、暮らす人に愛される施設」
十勝エコロジーパーク	音更町	広域集客型の施設 フワフワドーム、キャンプ場、広大な自然空間などを持つ広域型の遊び場。フワフワドームは無料で利用でき、ビジターセンターには積み木や本でくつろげるインドアガーデン、授乳室、多目的トイレもある。
更別村 農村公園大型 遊具広場	更別村	広域集客型の施設 2014年秋に開設。十勝管内でも屈指の規模の大型遊具広場で、5種類の滑り台を含む30種類以上の遊具、大人向け健康遊具、水遊び、ゴムチップ舗装、幼児・身障者対応トイレ、63台の駐車場を備える。
本別公園	本別町	広域集客型の施設 コンビネーション遊具、アスレチック広場、ボート、ゴーカート、パークゴルフ、キャンプ場などを持つ「一日遊べる」公園。交通公園では信号機や踏切を設け、ゴーカート・バッテリーカーを通じて交通ルールを学べる。
足寄町 里見が丘公園	足寄町	町内向け施設 ふわふわドーム、お山の遊具、複合遊具、幼児用遊具、遊水路などを備える。ふわふわドームは小さいドーム3～6歳、大きいドーム6～12歳と年齢区分が示されている。
帯広市 地域子育て支 援センター	帯広市	市内向け施設 0歳から就学前までの子どもと保護者が遊べる広場。親子の集い、保護者同士の情報交換、仲間づくり、子育て情報提供、相談を実施。父親、祖父母、妊婦も利用可能。

施設名	場所	主な施設内容
幕別町 札内コミュニティプ ラザキッズルーム	幕別町	町内向け施設 就学前までを対象に、すべり台、ボールプール、トンネルテント、積み木、絵本を備える。開館は9時～22時、予約不要。
幕別町 札内スポーツセンタ ーキッズスペース	幕別町	町内向け施設 就学前までを対象に、ボールプール、ジャングルジム・すべり台、丸形はしごを備える。予約不要。
幕別町 百年記念ホールプレ イルーム	幕別町	町内向け施設 小学校低学年までを対象に、ソフト積み木、ブロック、ジョイントマットを備える。予約不要 文化ホール・図書・交流機能と子どもの居場所を組み合わせた施設
芽室町 子育て支援センター げんき	芽室町	町内向け施設 保健福祉センター「あいあい21」のホールを使い、体を使った遊びをメインにした「わんぱく広場」を実施。 赤ちゃん広場、出張あかちゃん広場、発達支援センターを会場とした広場もある。

(2) 北海道内の室内遊戯施設（公共施設）

施設名	場所	主な施設内容
大雪かみかわヌクモ	上川町	「未来型公民館」として整備。子どもが走り回れるフリースペース、大雪山をイメージした傾斜遊具、チームラボによるデジタル遊び・プログラミング体験、カフェスペースを備える。子どもを見守りながら保護者が滞在できる構成が特徴。
道立ゆめの森公園 ビジターセンター	中標津町	道立公園内のビジターセンターに、多目的ホール、屋内遊戯施設、研修室、休憩室を配置。道東の厳しい冬でも快適に遊べるレクリエーション空間として整備されており、屋外公園・パークゴルフ・遊歩道等と一体で利用できる。
道立オホーツク公園 ころころひろば	網走市	センターハウス内の無料屋内遊戯室。ボールプール、ロープ遊具、木製の小屋・船など、体を動かす遊びとごっこ遊びを組み合わせた構成。乳幼児から利用でき、授乳・おむつ替え・子ども用トイレ・保護者の見守りスペースも整っている。
ふるさと遊びの広場 わんぱーく	根室市	根室総合運動公園内の子ども向け屋内遊戯施設。天候に左右されず子どもが自由に遊べる場で、子育て世代の交流の場所としても位置づけられている。中学校就学前の子ども向けで、入場人数は50人程度。
こども屋内遊戯場 キッズスクエア ちっく る	秩父別町	床面積約600㎡の大規模屋内遊戯場。大型ネット遊具、ウォールクライミング、チューブスライダー、幼児専用コーナーを備え、幼児から小学生まで年齢に応じて遊べる。無料で、道の駅や屋外大型遊具と一体的に利用されている。
屋内交流・遊戯施設 ちゃいるも	留萌市	道の駅るもい内の屋内交流・遊戯施設。複合遊具、エアトラック、木製バンクなどを備えた遊戯広場に加え、カフェや物販機能も併設。親子・家族の滞在、地域特産品の発信、道の駅利用との相乗効果をねらった施設。

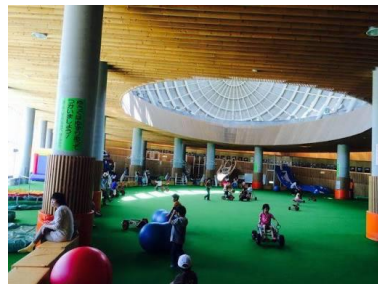
大雪かみかわヌクモ



ふるさと遊び広場 わんぱーく



道立ゆめの森公園 ビジターセンター



こども屋内遊戯場 キッズスクエア ちっくる



道立オホーツク公園 てんとらんど



屋内交流・遊戯施設 ちやいるも



（２）北海道内の室内遊戯施設（公共施設）

施設名	場所	主な施設内容
キッズメトロ	遠軽町	小学生までの子どもと保護者が利用できる子ども屋内遊戯施設。 開館時間は10時～18時で、混雑時は入場制限あり。 中学生以上は付添人扱いで、小学生以下の利用には保護者等の同伴が必要。 天候や季節に左右されず、子どもが安心して遊べる場として整備されている。
子ども施設内遊戯施設 はれっぱ	南幌町	南幌中央公園内に整備された室内遊戯施設。 札幌から車で約45～50分の立地。有料の遊戯エリア「きゃべっちパーク」と、無料休憩エリア「MINAすまいるゾーン」で構成される。 北海道産木材を活用した休憩空間があり、子どもだけでなく大人も滞在しやすい交流拠点型の施設。 1歳～中学生は有料、0歳児と付き添いは無料。

キッズメトロ

